



GIGA スクールの目指すところ

校長 藤森克彦

早いもので、今年度登校する日もあと19日となりました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、長期の臨時休業をはじめ学校行事の変更や中止など、今まで経験したことのない対応に迫られました。その都度保護者の皆様にはご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。特に6年生は、最高学年としてのパフォーマンスを発揮する機会が十分でありませんでした。が、小学校生活の残りわずかな日々を大切に過ごし、小学校の思い出を少しでもたくさんつくってほしいと願っています。

さて、先日全学年児童一人一人にタブレット端末を配り、今週から実際の授業で活用しています。思っていた以上にログイン作業なども手際よく行うことができ、改めて子どもたちはデジタル世代なんだなど実感しました。下校の時に「タブレットが壊れちゃうから、走っちゃだめだよ」と注意し合っている声も聞こえ、大事にしている姿も見られました。まだ1週間しか経っていませんが、タブレット端末を活用した学習が楽しくなるだろうという期待感も高まってきているようです。

一方、気になるのがその使い方です。保護者の方も、夢中になり過ぎたり友達関係などのトラブルに陥ったりとご心配もあろうかと思えます。今回「大一タブレット活用ルール」を示しましたが、明らかに絶対にしてはだめという操作には必要なフィルタリングがかかっていますが、本校では「学習と関係のないこと」についてもルールとして明文化しました。例えば、背景の壁紙を変えないなどです。そのくらい気分転換になっていいじゃないか、どこが間違った使い方なのかというお考えあるかもしれません。しかし、壁紙を変えるという発想・行為そのものが、子どもの不安定な気持ちの表れであり、トラブルにつながりかねないからです。つまり、タブレット端末を学習用具とし適切に活用していれば、自分の気分で変えてみたいなどというこだわりは生まれてこないはずなのです。学校教育の学習活動にという方向から外れるものは、最初の段階できちんと精査していく、その小さな積み重ねによって真に学習に役立つアイテムになると考えます。

ところで、PCを活用した学習は10年以上前から行われてきました。保護者の方も、子どもころPCを使った授業があったのではないのでしょうか。今はその頃とはPCの活用の頻度も内容も大きく変わってきています。学校でPCを活用する授業には、歴史的に次のようなステップがありました。

まず、①教師が教材教具として使う段階です。理解を深めるため一斉に動画を見せたり教材を提示したりしていました。次に、②ドリル学習や記録機器として活用する段階です。漢字や計算の習得のための反復練習や、写真や動画を撮って記録したり振り返ったりして考えを整理させていました。さらに、③学びを個別化・協同化していく段階です。自分に合ったペースや学び方で、必要に応じて人に力を貸してもらったり人に力を貸したりしながら問題を解決していく学習です。それは教室内で実際に進められている授業形態そのものですが、従来ですと一人一人の意見や考えを紙の短冊や付箋に書いて、分類したり比較したりしながら全体としての考えにまとめていました。それがタブレット端末だと、自分の意見や考え、撮った画像なども画面上で簡単に情報カードにして表せます。友達がつくったものも教師のPCを介して全員で共有し、各自の画面上に並べることもできます。子どもたちは集まった情報カードを分類したり比較したり、プレゼンテーションに利用するなどして自分(自分たち)の考えを創っていくことができます。こうしたことはインターネット(クラウド)環境がある今の時代だからこそできることであり、GIGAスクールと言われる所以です。

それは「やらされる学習」から「自分から進んでやる学習」「自分たちで解決していく学習」に置き換えていくことでもあります。こうした主体的な学習が、これからの時代に求められる思考力・判断力・表現力につながると期待しています。

2/3(水)、4(木)チャレンジジャンプ大会

体育部 村上 剛

1月の体力向上月間の取組の一つとして学級対抗チャレンジジャンプ大会を行いました。この間、中休みや昼休みにクラス練習を行う学級もあり、大変盛り上がりました。当日の大会では各学級、練習の成果を出すことができました。大会は体育委員会の5年生が運営しました。朝の15分間という短い時間ではありましたが、計画通りに運営することができました。

＜体育委員会委員長 5年月組 飯合 春佳さんの話＞

どのクラスも一生懸命に頑張っていてすごいなと思いました。大会が時間通りに始まることのできたのは全校のみなさんの協力のおかげです。ほんとうにありがとうございました。

優勝学級		
1年	2年	3年
竹組	松組	竹組
4年	5年	6年
梅組	梅組	松組
総合優勝（6学年の合計回数が一番多いクラス）		
梅組		



ありがとう6年生 in フレンドタイム

市民科部 八木 健登

6年生があと少して卒業します。5年生が6年生からバトンを引き継ぎ、下級生をまとめて行う初めての活動を実施しました。今年度のフレンドタイムの締めくくりです。4年生は5年生のサポートをしたり、下級生の面倒を見たりして「高学年になるんだ」という気持ちを高めました。どの学年の子どもたちも、6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えるために、一生懸命に活動していました。5年生の振り返りでは「6年生はこんなにも大変なことをしていたのかと知り、すごいと思った」「みんなを楽しませるとするのが難しかった」「この活動を通して、企画力やまとめる力、指示する力が身に付いたと思う」などと書かれていました。5年生は4月から最高学年になるとい



う責任を感じ、自覚が芽生えてきました。チームワークがよく、頼りになる6年生が卒業してしまいますが、1～5年生の子どもたちのフレンドタイムでの姿を通して本校がさらによい学校になっていくという期待が高まりました。これが伝統です。6年生が築いた伝統を来年度も大切にしながら活動を展開してまいります。

生活指導部よい～ABCの先には…～

生活指導部 福本 千絵

「大ーABCコンプリート」が今月の目標です。「A」当たり前のことを「B」ばかりにしないで「C」ちゃんとやる」。このことが昨年度に比べて、今年度はかなりできるようになってきたと感じています。例えば、朝、2階の廊下を教室に向かって歩いていると、登校してきた子たちが「おはようございます」と自分から挨拶をしてきたり、廊下ですれ違う子が会釈をしてきたりする姿が見られます。まだあります。登下校時に校帽をきちんとかぶっている高学年が増えました、音楽室や体育館へ向かうときには整列して無言で移動できるクラスが多くなりました、6年生が毎日校旗を掲げて、帰りに忘れずに片付けています…など。本校が全体的によくなっていることは間違いありません。

3月は1年間の締めくくりです。自分はどうだったのかを振り返り、「まだできていないことはこれだ」と自覚することが、よりよい自分になるためのスタートです。「大ーABCコンプリート」ができれば、きっと「D」だれもが安心して生活できる学校」になるはずです。ABCのその先のDを目指していくことを心から期待しています。

【子どもたちの思考力を育むために】

研究主任 森本 睦美

本年度、本校では「児童の思考力を高める～主体的・対話的で深い学びを通して～」というテーマで校内研究を行ってきました。『校内研究』というのは日々の授業をよりよくするための教員の勉強会です。子どもたちが楽しく分かりやすく授業で学んでいけるよう、実際の授業を互いに見合いながら全教員で協議することを繰り返しています。

日々の授業の工夫としては、解決したくなるような課題を設定すること、適切に評価し次に生かすこと、安心して学習に集中できる学級をつくることなどを意識してきました。そして一番のポイントは、子どもたちが自分の考えを深めるための工夫をすることです。その日の課題に対しての自分の考えを友達と話し合うことで、最初とは違った見方ができるようになったり、考えの根拠が増えたり、新しい見方が生まれたりします。最初は自分の考えをもてなかった子が友達の考えに納得したり、友達と話し合っているうちに自分の考えを考え直したりすることもあります。これらのように「考えの深まり」が生まれる授業にするために、日々試行錯誤しています。

来年度、大井第一小学校は令和2年度と3年度の2年間の校内研究をしてきたことを基に研究発表会を実施する予定です。子どもたちのさらに進化した学びの姿が見られるよう、今後も研究を続けていきたいと思えます。本年度の研究授業の様子をホームページに掲載していますので、ぜひそちらもご覧ください。

今年度を振り返って ～成長した自分～

<1年>

- ・ぼくは、ともだちづくりが上手になりました。どうしてかという、ぼくはともだちとなかよしだからです。これからも、ともだちとなかよくしたいです。

(1年竹組 藤本 瑛仁)

- ・1年生になるときはともだちをつくるのがにが手だったけど、すこしたつともだちがたくさんできるようになって、うれしいです。

(1年月組 福島 ことは)

<2年>

- ・わたしは、自分からやろうとするところが自分では1年生の時よりも成長したと思います。自分から友達に話しかけたり、自分から発表したりすることができました。

(2年竹組 廣瀬 優和)

- ・ぼくは、チャレンジジャンプをがんばりました。中休みや昼休みにれんしゅうしたられんぞくとびもできるようになってよかったです。

(2年月組 尾臺 陽人)

<3年>

- ・ぼくは、みんなに自分から「遊びに入れて」とは言えなかったけれどみんなが「一緒にやろうよ」などと言ってくれたので遠りよせず遊べるようになりました。

(3年梅組 内田 壮祐)

- ・わたしが成長できたことは、自信をもつことです。今まではどうせ無理だからと自信をもてずにいたけれど、できないならこうしようと工夫したおかげで自信をもてるようになりました。次はもっといろいろなことに挑戦したいです。

(3年月組 矢部 佑莉)

<4年>

- ・ぼくは、あいさつをがんばりました。毎日信号の場所で安全を守る人たちに「おはようございます」「行ってきます」と言い、仲良くなりました。これからもいろいろな人にあいさつをしたいです。

(4年梅組 木村 涼人)

- ・私が今年成長したと思うことは、昨年よりも積極的に活動することができたことです。例えば、班長に初めて自分から立候補しました。班のみんなの意見をよく聞いてまとめることをがんばりました。5年生になっても新しいことに挑戦していきます。

(4年月組 橘山 莉央)

<5年>

- ・わたしにとってこの1年間は、友達の大切さを改めて知ることのできた年でした。体育祭や大縄、それに休校期間で人とのつながりを大切に思えたからです。来年度は新しいことに挑戦し、立派な最高学年を目指します。

(5年松組 荻原 佑季子)

- ・今までは自信をもって何かをやることははずかしくてやらなかったが、自分から手を挙げて応援団や指揮者をやるようになった。6年生でも自分から手を挙げていろいろなことに挑戦してみたい。

(5年月組 糟谷 宏斗)

<6年>

- ・ぼくは友達の意見を全て反対するのではなく、「そうだね、でもぼくはこう思う」と言えるようになった。前は全て反対していたが今では相手の意見を大事にすることができるようになり友達がたくさんできた。

(6年竹組 太田 然)

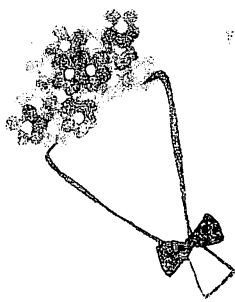
- ・私が6年生になって成長したことは、裏から支える側にもまわれるようになったことです。5年生や6年生の1学期までは表側でしたが色々な人に役割をゆずれるようになりました。

(6年梅組 兼高 美吹)

【令和3年度の主な行事予定】

※現段階での予定です。変更になる場合もあります。

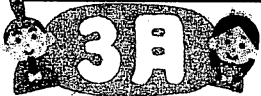
【1学期】	【2学期】	【3学期】
<p><4月> 6日(火) 始業式・入学式 7日(水) 給食始(2~6) 8日(木) 給食始(1) 保護者会(3・4) 12日(月) 保護者会(5・6) 13日(火) 保護者会(1・2) 17日(土) 授業参観 21日(水)~27日(火) (土日は除く) 家庭訪問</p> <p><5月> 15日(土) 開校記念日(休み) 26日(水)~28日(金) 日光移動教室(6)</p> <p><6月> 5日(土) 学校公開 17日(木) 体力調査① 18日(金) 体力調査② 19日(土) 土曜授業(参観なし) 21日(月) 水泳指導始</p> <p><7月> 3日(土) 土曜授業(参観なし) 引き渡し訓練 6日(火) 保護者会 (1・3・5) 8日(木) 保護者会 (2・4・6) 19日(月) 給食終了 20日(火) 終業式</p> <p><8月> 22日(日)~23日(月) 日光林間学園(5) 29日(日)パラリンピック観戦 (ポッチャ2・5) 31日(火)パラリンピック観戦 (ポッチャ3・4)</p>	<p><9月> 1日(水) 始業式 パラリンピック観戦 (車いすバスケットボール1・6) 2日(木) 給食始 4日(土) 土曜授業(参観なし) 7日(火) 保護者会 (1・3・5) 9日(木) 保護者会 (2・4・6) 10日(金) 水泳指導終</p> <p><10月> 1日(金) 都民の日(休み) 9日(土) 大一体育祭 (午前開催のため振替休みなし) 28日(木) 区教育委員会 研究指定校発表会 (午後なし)</p> <p><11月> 6日(土) 学校公開 20日(土) 展覧会 (保護者鑑賞日) 22日(月) 振替休み 24日(水)~30日(火) 個人面談(土日は除く)</p> <p><12月> 4日(土) 授業参観 17日(金) フレンドまつり 21日(火) 保護者会(6) 23日(木) 給食終 24日(金) 終業式</p>	<p><1月> 11日(火) 始業式 12日(水) 給食始 15日(土) 市民科授業地区 公開講座 18日(火) 保護者会 (1・3・5) 20日(木) 保護者会 (2・4)</p> <p><2月> 5日(土) 土曜授業(参観なし) 19日(土) 授業参観</p> <p><3月> 5日(土) 土曜授業(参観なし) 24日(木) 卒業式 25日(金) 修了式(1~5)</p>



年間重点生活目標「大-ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

生活のめあて	大-ABCをコンプリートしましょう
保健のめあて	手洗いとうがいをしましょう
給食のめあて	1年間の給食を振り返りましょう



の行事予定

※今月は予告なしの避難訓練を実施します。

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	月		18	木	学期末個別学習③
2	火	放送朝会	19	金	音楽朝会
3	水		20	土	春分の日
4	木		21	日	
5	金	委員会最終	22	月	卒業式予行(5・6年)
6	土	安全指導 PTA後期総会・PTA役員会	23	火	卒業式前日準備(5年) 給食終
7	日		24	水	卒業式 ※1~5年生は出席しません。
8	月		25	木	修了式 大掃除
9	火	放送朝会	26	金	春季休業開始
10	水		27	土	
11	木	児童集会	28	日	
12	金	卒業遠足(6年)	29	月	
13	土		30	火	
14	日		31	水	
15	月	学期末個別学習①			
16	火	学期末個別学習② 放送朝会			
17	水				



当初の行事予定

4月5日 新年度入学式準備(新6年)
4月6日 始業式・入学式

「リレーコラム「かかわる・創る」

6年担任 曾根原 和明

一人1台のタブレット端末を利用した学習が始まりました。タブレット端末を活用することで、クラスの友達の考えを瞬時に知ることができます。そして、友達の考えに刺激を受け、新しい自分の考えをもつことができます。まさに、「かかわる、創る」といえる状況でしょう。

しかし、タブレット端末を繰り返し使っている子から「人と話すことが減るからコミュニケーションがとれない」という不安の声が聞こえてきました。つまり、みんなが画面に釘付けになり、仲間同士の対話が不十分になるという指摘です。タブレット端末は、「かかわる、創る」を促進する強力なツールとなり得ます。ところが、使い方を誤ると、人と人との心理的距離を生み出すツールともなり得ます。私たちは、デジタルメディアといかに関わっていくべきなのでしょう。予測困難な時代の諸課題に対し、他者はもちろん、タブレット端末とも上手に付き合い乗り越えていきたいと思えます。